

本科 1 期 7 月度

解答

Z 会東大進学教室

高 1 選抜東大英語

高 1 東大英語



11 章 動名詞

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 君はどうして自分の選んだ大学に入れると確信しているんだい？
- (2) 私は日本に住んでいたことに誇りを持っている。

■ 確認問題 2

解答

- (1) あくびはうつる。
- (2) 冬に薄着をするとひどい風邪をひくことがある。

■ 確認問題 3

解答

- (1) 彼は以前、毎晩飲みに出かけていたものだ。
- (2) 私の夫は「芝生を刈る必要がある」と昨日言った。

■ 確認問題 4

解答

- (1) (It is difficult to imagine) him [his] accepting my decision (without any objection.)
- (2) (Her parents didn't approve) of her staying out late.

■ 確認問題 5

解答

A.

- (1) to be 「私は窓から外を見ると、ケイトは一人きりのようだった。」
- (2) to be 「私はそのカニが死んだと思っていた。しかし生きているとわかり、私にかみついた。」
- (3) smoking 「彼は健康を害するという恐れから喫煙をやめた。」
- (4) smoking 「私の姉〔妹〕はタバコをやめると約束した。」
- (5) to accept 「彼は私の助言を受け入れなかった。」
- (6) to find 「私は、ロンドンに行けば、職が見つかるかと期待した。」
- (7) writing 「私は手紙を書くのを何度か延期した。」

B.

- (1) (a) 彼女に話しかけてみようとしたが、話しかけられなかった。
(b) 彼女に話しかけてみたが、彼女は聞こえないふりをした。
- (2) (a) 忘れずにドアをロックしなさい。
(b) 先月あまりにも多くの服を買ったということを忘れるな。
- (3) (a) 出る時には、忘れずにドアをロックしなさい。
(b) 私は間違いなくドアをロックした。私はロックしたことを覚えている。
- (4) (a) 残念ながら、あなたの申し出はお受け致しかねます。
(b) ジョーは自分が言ったことを今後悔している。彼はそんなことを言うべきではなかったのに。
- (5) (a) 上司は次に自分の人生について話し始めた。
(b) 上司は何時間も話し続けた。

■ 確認問題 6

解答

- (1) この本は読む価値がある。
- (2) 勉強しなければ学校に行っても無駄だ。
- (3) 次に何が起こるか分からない。
- (4) 健康が富に勝るのは言うまでもない。
- (5) 友人を選ぶ時はいくら注意してもしすぎることはない。
- (6) ジェーンは真面目でいようとしたが、笑いをこらえることができなかった。

問題

【1】

解答・解説

- (1) ア「私は宿題をやり終えた。」〔finish は目的語に動名詞をとる。〕
- (2) ア「少し自由な時間があるときは、私はいつもクラシック音楽を楽しみます。」〔enjoy は目的語に動名詞をとる。〕
- (3) イ「こんなすばらしい映画を見逃してはいけませんよ。」
○ miss …ing 「…しそこなう」
- (4) イ「私は転職することを考えたが、結局はそうしないことにした。」
○ consider …ing 「…することをよく考える」
○ in the end 「結局」
- (5) エ「ベティの母はあなたが毎晩ベティに電話することをこぼしてはいませんか。」
〔about の後なので、動名詞句がくる。you call her up を名詞相当表現にすると、意味上の主語は your となり、your calling her up となる。〕
○ complain about〔of〕～ 「～について不満〔不平〕を言う」
- (6) ア「私はこの前の夏にあなたに会ったことを覚えている。」
○ remember …ing 「…したことを覚えている」 cf. remember to do (忘れずに…する)
- (7) イ「私は何年も前にあなたに会ったことを覚えています。しかし、どこで会ったかは記憶にありません。」
I remember meeting you many years ago.
= I remember that I met you many years ago.
cf. I remember to meet you tomorrow.
= I remember that I have to meet you tomorrow.
- (8) エ「彼女は音楽の分野に進まなかったことをひどく後悔していた。」〔完了形の動名詞 having + 過去分詞 は主節の時制より前のことを表す。また否定語 not は動名詞の前に付ける。〕
○ regret …ing〔having done〕 「…したことを後悔する」
○ bitterly 「ひどく」
- (9) エ「その少年は少し具合がよくないので、看病される必要がある。」
○ want …ing = want to be *done* 「…する必要がある」
○ look after ～ 「～の世話をする、看病する」
- (10) エ「私のこの古い自転車は修理する必要がある。」
○ need …ing = need to be *done* 「…する必要がある」

【2】

解答・解説

- (1) Would you mind telling us what you think of the school?
○ would you mind …ing? 「…していただけませんか。」

- mind …ing 「…することを気にする, 嫌がる」
- what you think of ~ 「~について思うこと」
- (2) We have no doubt about his being ill in bed. [his は動名詞の意味上の主語]
- (3) He would not approve of his son getting married like that. [his son は動名詞の意味上の主語]
 - would not [過去における「拒絶」を表す。]
 - approve of …ing 「…するのを認める, …することを許す」
 - get married 「結婚する」

【3】

解答・解説

- (1) As there is no charge for borrowing books from public libraries,
 - charge for ~ 「~の料金」
 - borrow 「~を借りる」 [rent は「~を賃借りする」「~を賃貸しする」の意味。]
- (2) Ken, by visiting me, saved me the trouble of calling him up.
 - save 人 … 「人の… (時間など) を省く」
 - the trouble of …ing 「…する手数, 面倒」
 - call ~ up 「~に電話をかける」

【4】

解答

学者が尋ねる質問の中には、世間の人々にとっては、答えるのは言うまでもなく、質問する価値さえほとんどないと思われるものがある。学者は、電子の運動、ローマ貨幣の鑄造年、詩の構造について尋ねる。彼らは、何年もかけて説明してもらわないと理解できないほど非常に細かくて専門的な質問をするのだ。

【5】

解答

アメリカ人は、このような打ち解けた形でお互いに会うことに慣れているし、人なつこく、また話をしている相手に関心があるように装うのにかなりの腕を見せることがよくある。他の国の人には、この見せかけの親しみやすさに心動かされることが多い。しかし、彼らが後に異なった状況のもとで再会した時には、これらの同じアメリカ人は依然として親しみやすさはあるが、彼らは非常に忙しくてパーティーで始まった関係を続けられないように思われるのである。

【6】

解答

一般に認められていることではあるが、ヨーロッパ人は自分の考えを体系化していて、日本人よりも自国の文化を第三者に紹介するのがうまいばかりでなく、自分の考えを他人に伝えるのもうまい。ヨーロッパ人はこの訓練をよく積んでいるが、その否定的な側面として、彼らが

自分たちを教える立場にあると思い込んで、他人の言っていることに耳を傾けなくなる横柄な態度にいつの間にか陥ることが非常によくある。

【7】

解答

「全訳」下線部(1), (2)参照。

全訳

言うつもりのないことを言ってしまうことはあるか。まずい時にまずいことを言ってしまうような気がするだろうか。(1)自分が思った通りのことを正直に話すことと、人の感情を傷つけることとは別物である。自分が言うことを抑えることは、自分の一生を思い通りにすることの一部である。まずいことを言わないでおく方法はある。黙っている練習をしなさい。何かを言う前に、ちょっと間をとりなさい。一息入れなさい。(2)そうすれば、何を言ったらよいかを考える時間ができるだろう。少し頑張れば話す前に間をとることが習慣になりうる。もし自分が感情的な状況にあったとしたらどうなるだろうか。後悔するようなことを言ってしまうのではないかと心配になる。(そういう時には)部屋から出なさい。落ち着きを取り戻さない限り(部屋に)戻ってはいけません。

【8】

解答

A.

- (1) 英語の歴史〔英語史〕の授業 (2) 明後日
- (3) 16世紀と17世紀の英語の音の変化について
- (4) 英語のセクションを調べること (5) 午後8時

B.

- (1) Yes, I'm taking an English language history class and I'm (supposed) (to) write a report.
- (2) I (hate) (to) say it, but it's due the day after tomorrow.
- (3) If you (have) (any) (trouble) (finding) them, don't hesitate to ask for assistance.
- (4) I forgot to mention that (it) (might) (be) (a) (good) (idea) to check the Internet as well. There should be a lot of (information) about your topic.

Script

A : So you have a writing assignment?

B : Yes, I'm taking an English language history class and I'm supposed to write a report.

A : When is your paper due?

B : I hate to say it, but it's due the day after tomorrow.

A : You'd better get busy! What's your topic?

B : In class, we're studying about the sounds of English. It's called phonetics. I want to know more about the changes of English sounds during the 16th and 17th century.

A : I see. You might want to check the English language section first. Then I would

recommend going upstairs to the linguistics section. You should find many books on language change. If you have any trouble finding them, don't hesitate to ask for assistance.

B : I appreciate your help.

A : I forgot to mention that it might be a good idea to check the Internet as well. There should be a lot of information about your topic.

B : Oh, I didn't even think about that.

A : Remember, the library closes at 8:00 p.m., so you don't have a whole lot of time.

B : I won't forget. Thank you.

全訳

A : レポートの宿題が出ているわけですね。

B : はい、英語の歴史の授業を取っていて、レポートを書かなければいけないんです。

A : レポートはいつ締め切りですか。

B : 言いにくいのですが、明後日なんです。

A : 取りかからないといけませんね。テーマは何ですか。

B : 授業では英語の音について勉強しています。音声学って言うんですが。私は、16 世紀と 17 世紀における英語の音の変化についてもっと知りたいと思っています。

A : 分かりました。まず、英語のコーナーを調べた方がいいですね。それから、2 階の言語学のコーナーへ行くことをお勧めします。言語変化について本がたくさんありますよ。見つからなかったら、遠慮せずに聞いてください。

B : ありがとうございます。

A : 言い忘れていましたが、インターネットも調べてみたらいいかもしれませんね。そのテーマについてたくさん情報がありますよ。

B : そうか、それは考えもしませんでした。

A : それから、図書館は午後 8 時に閉まりますからね。あまり時間はありませんよ。

B : 覚えておきます。ありがとうございました。

【9】

解答

(1) Consequently it is not much use trying to make judgments about people on the basis of their appearances.

- it is no(not much) use ...ing 「…しても〔ほとんど〕無駄である」
- make judgments about ~ 「~について判断する」
- on the basis of ~ 「~に基づいて、~を基礎として」
- one's appearance 「人の外見」

(2) There is no denying the fact that the telephone is indispensable to modern living.[it が不要]

- there is no ...ing 「…することはできない」
- the fact that ~ 「~という事実」

- indispensable 「不可欠な」
- (3) The movie is worth seeing at least two or three times. [looking が不要]
 - S is worth …ing 「Sは…する価値がある」
- (4) I make a point of putting sentences right in my mind before writing them down.
 - make a point of …ing 「決まって…する」
 - put ~ right 「~を正しく置く」
 - write ~ down 「~を書き留める」
- (5) Unlike most Europeans, many Americans are used to eating bacon and eggs for breakfast every day. [eat が不要]
 - be used to …ing 「…することに慣れている」

添削課題

解答

- (1) Remember [Don't forget] to feed my cat.
- (2) I remember seeing her somewhere before.
- (3) Researchers went on to say that forest destruction was caused by the poor seeking land.
- (4) I feel like dancing all night.
- (5) It's worth considering.
- (6) It is no use arguing with him.
- (7) There is no telling [predicting] the consequences.
- (8) I couldn't help laughing at his jokes.
- (9) My computer needs repairing.

12章 分詞1

要点

■ 確認問題1

解答

- (1) 私たちは家の周りを取り囲んでいる木を切らなければならない。
- (2) 私は5回目でその機械をなんとかもう一度動かした。
- (3) 彼女が朝走っているのを見ても驚かないよ。
- (4) ここでは音楽を勉強している学生はあまりいないだろう。
- (5) 彼女の言葉によって私たちが直面していることについて、深く考えさせられた。
- (6) 彼女は私を駅で1時間待たせた。
- (7) その少女は窓のそばで楽しそうに歌いながら座っていた。
- (8) とても忙しい時に話しかけ続けられないでください。
- (9) このお店に来るのに困ったら、次のページを確認してください。

■ 確認問題2

解答

- (1) これらはいつでもあなたの考えを人にわかってもらうための5つの秘訣だ。
- (2) 私の名前が大声で呼ばれるのを聞いたが、周りには誰もいなかった。
- (3) この壊れたコンピュータを修理してほしいのですが。
- (4) 私は電車でパスポートを盗まれた。
- (5) 私は今日美容院で髪を肩より上の長さに切ってもらった。
- (6) 私はゆで卵とスモークサーモンのサンドイッチとアイスティーをいただきます。
- (7) 彼はスピーチを練習する時間が残っていなかった。
- (8) 私は父のイライラしている様子がわかった。
- (9) 興奮した群衆が空港でその俳優の到着を待った。

問題

【1】

解答・解説

- (1) **ア** 「あの走っている少年は私の弟です。」〔分詞が単独で名詞を修飾する場合は、名詞の前に置く。〕
- (2) **オ** 「あなたの息子が壊したあの窓は、弁償されるべきだ。」〔主語の部分は「あなたの息子によって壊されたあの窓」の意味で、分詞が修飾語を伴う場合は名詞の後に置かれる。この場合は過去分詞。〕
- (3) **エ** 「彼は舞い落ちてくる木の葉を見上げ、そして散った葉を1枚拾い上げた。」〔現在分詞と過去分詞の意味関係を区別すること。〕
- (4) **エ** 「ご協力ありがとうございます。」〔「あなたの協力は大きいにありがたく思われています。」の意味から、過去分詞になる。appreciated は過去分詞なので much で修飾する。〕
- (5) **ア** 「彼の成績は非常にがっかりするものだった。」〔「his achievement は私を失望させる」という能動的関係なので、現在分詞 disappointing を用いる。現在分詞は very で修飾できる。〕
- (6) **イ** 「私は背中を叩かれるのを感じた。」〔「my back が叩かれる」という受動関係なので、過去分詞にする。〕
- (7) **イ** 「台風はその島を本島から切り離した状態にした。」
○ leave ~ *done* 「～を…のままにしておく」〔「the island が切り離された」という受動関係なので、過去分詞にする。〕
○ separate ~ from … 「～を…から切り離す」
- (8) **イ** 「お前に私の娘と交際させはしない。」
○ have ~ …ing 「～に…させる」〔使役動詞 have は目的格補語に原形不定詞もとるので、この場合、I will not have you *keep* company with my daughter. という文も成り立つ。〕
○ keep company with ~ 「～と付き合う、交際する」

【2】

解答・解説

- (1) repaired 「私の時計がおかしいので、修理してもらわなければならない。」
○ there is something wrong with ~ 「～の調子が悪い」
○ get ~ *done* 「～を…される、してもらう」
- (2) to install 「あなたはどうやって電話会社に新しい電話機をそんなに早く取り付けさせたのですか。」← (直訳) 「あなたの新しい電話機を電話会社にそんなに早く取り付けさせるために、あなたは何をしましたか。」
○ get ~ to *do* 「～に…させる」
○ install 「～を取り付ける」
- (3) lying 「あそこでソファに横になっている少年は誰ですか。」〔「…している～」という

能動関係なので、現在分詞が入る。「横になる」という動詞 lie の現在分詞は lying。]
cf. lie (横になる) – lay – lain – lying, lay (～を横にする) – laid – laid – laying

【3】

解答・解説

- (1) A week later (I received a letter from her telling me that her husband was dead).
[「～という手紙」は「私に～と知らせる手紙」と考えて、a letter (from her) telling me that ～とする。]
- (2) (I think I will have my eggs boiled). [「ゆで卵」は boiled eggs だが、この場合、have ～ *done* (～を…してもらう) を用いて、have my eggs boiled とする。]
- (3) (I heard he had all his money stolen) while he was on vacation. [「彼はお金を盗まれた」とするのに be 動詞がないので、have ～ *done* (～を…される) を用いて、he had all his money stolen とする。]
- (4) (I need to have this job done by Friday night). [「この仕事を仕上げる」は「この仕事をしてしまう」と考え、have ～ *done* (～を…してしまう) を用いて、have this job done とする。]

【4】

解答

- (1) 「全訳」の下線部(1), (5)を参照。
- (1)○ it is essential to have a vision in front of you of what you want to be doing in ten years' time.
○ it = to have a vision [形式主語]
○ essential 「欠くことのできない」
○ have a vision of ～ 「～についての見通しを持つ」
[of の目的語は what you want to be doing in ten years' time。vision の後の in front of you (あなたの目の前にある) は have を修飾。]
- (5)○ with precious little time left over for studying for a career
○ with ～ *done* 「～を…された状態で」 [付帯状況]
○ precious 「貴重な、大切な」
○ little 「ほとんどない」 [準否定語]
○ leave over ～ 「～を使わないで残しておく」
○ study for ～ 「～のために勉強 [研究] する」
○ career 「職業、経歴、出世」
- (2) (2) イ (3) エ
○ get ～ … 「～を…してしまう」
～ = the required study you need for your future work
… = accomplished
- (3) イ

全訳

18歳になると、(1)これから先の10年間に何をやっていきたいかということについての見通しを、自分の目の前に描くことは不可欠だ。20歳から30歳までの時期は、すべての学習期間の中で一番重要である。もしこの時期に将来の仕事のために必要とされる学習をやり終えていなかったら、おそらくそれをやり終えることはないだろう。30歳までに、生活は妻や子供たち、家、仕事中心になってしまい、(5)出世のために勉強する貴重な時間はほとんど残っていない。

【5】

解答

「全訳」下線部(1)、(2)参照。

全訳

野生動物用の農場のことを今まで聞いたことがあるだろうか。アラスカ大学にはそれがある。(1)それはジャコウウシを育てる実験農場である。一時期、そのウシは絶滅しかかってほとんど残っていなかった。今では農場で行われた努力のおかげで、ジャコウウシは救われただけでなく、繁殖も始めている。

ジャコウウシを見つけることは困難な作業だった。その動物の数は非常に少なかった。彼らはすぐに怖がる。彼らの唯一の天敵はオオカミである。(2)オオカミが近づくと、ジャコウウシは鋭い角を外へ向けて輪を作ることによって身を守る。このためジャコウウシを捕まえることは一層難しくなる。捕まえることができた数少ないジャコウウシは入念に準備した条件の下で繁殖を始めるために、農場へ連れていかれた。

【6】

解答

A.

- (1) 朝食 (2) 早く起きない (3) 雑誌
(4) 太り (5) (健康によくない) 間食〔軽食〕

B.

- (1) He usually has breakfast before he goes [comes] to the office.
(2) Because she sometimes oversleeps.
(3) She had ham and eggs, a small bowl of salad, and a piece of toast.

Script

CD 7

A : According to a survey, not a few people skip breakfast these days.

B : Why do they skip breakfast?

A : I think it's simply because they don't get up early enough.

B : That's too bad. I read in a magazine that people who skip breakfast are likely to be fatter.

A : Why is that?

B : Possibly because they are more likely to have unhealthy snacks mid-morning to boost

A : I see. By the way, you always have breakfast before you come to the office, don't you?
B : Yes. How about you?
A : Sometimes I oversleep and have to skip breakfast.
B : Did you eat this morning?
A : Yes. I woke up ten minutes before the usual time.
B : What did you have for breakfast this morning?
A : Ham and eggs, a small bowl of salad, and a piece of toast.
B : You had a very good breakfast.

全訳

B：とてもいい朝食だね。

添削課題

解答

- (1) Police investigating the crime are looking for three men.
- (2) Most of the suggestions made at the meeting were not very practical.
- (3) There was nobody else staying there.
- (4) There was nothing written on the piece of paper.
- (5) Anna is bored because her job is boring.
- (6) This weather made me depressed.
- (7) He never stops talking and he never says anything interesting.

13章 分詞2

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) どうしたらよいかわからなかったので、私は黙っていた。
- (2) その本は長い間読まれていなかったの、ほこりまみれだった。
- (3) ジョンはそのニュースにショックを受けて、しばらく動けなかった。
- (4) 話し合うべき問題がもうなかったの、会議は終わった。

■ 確認問題 2

解答

A.

- (1) Looking down from the plane, I could see the west coast of the island.
- (2) The typhoon hit Nagoya, causing great damage.
- (3) Having read the book twice, I can criticize it.
- (4) Seen at a distance, the rock looked like a lion.

B.

- (1) 生徒たちが笑いながら食堂へ向かって歩いていた時、1匹のネコを見た。
- (2) そのバスケットボール選手は目を閉じたままフリースローを決めた。
- (3) 私が今習っているのはピアノを弾きながら歌うこと〔ピアノの弾き語り〕だ。

■ 確認問題 3

解答

- (1) 厳密に言うと、彼の話が彼自身の経験に基づいているという証拠はない。
- (2) それをするには一般的に言って3通りの方法がある。

問題

【1】

解答

- (1) 人々はパーティーや余興にでも行くかのように人を見送りに行くので、そこで見送られる人はまったく気の進まぬスターであり、延々と続く記念写真の撮影やプレゼントの贈与に付き合わされるのである。
- (2) ジェフ・マーティンは驚いて彼女を見つめた。彼女は教師だと聞いていたので、顔がしわだらけでやせこけた年配の女性に会うのだろうと彼は思っていたのだ。しかし、誰もが彼女は美しく若い女性であることを認めるだろうと、彼は思った。
- (3) 太陽は太陽系の中心であり、地球を含めて、惑星は太陽の周りを一定の軌道で回転し、月は地球の周りを回っている。

【2】

解答

「全訳」下線部(1), (2)参照。

全訳

草食動物はあくびをしないと主張する人がいる。それはばかげた考え方である！ 草食動物は肉食動物と全く同じようにあくびをする。馬を見てみなさい。馬はあくびをする前に噛み、口を開け始める。(1)いったん体が温まると、馬は頭と首を伸ばして、口を大きく開けて、白目をむいてから目を閉じて、たいていは数回続けてあくびをする。あくびをしたあと、馬はすっかり満足して、少し眠そうに見える。(2)馬があくびをするのを見てみると、あくびがうつら「ない」ようにすることはほぼ不可能だとわかるだろう。

うさぎもあくびをする。見てみると、うさぎの体が徐々に伸びるのが見えるが、これはつま先立ちになって腹筋を伸ばしている人に似ている。あくびの真っ最中には、うさぎの背中はいっぱい弓形になり、すべての歯があらわになる。うさぎはあくびを楽しんでいるように思われる。

【3】

解答

- (1) 「全訳」下線部(1)参照。
- (2) 「全訳」下線部(2)参照。
- (3) embarrassed
- (4) 「全訳」下線部(4)参照。
- (5) The Japanese are said to live in a shame culture
- (6) 工
- (7) 「全訳」下線部(7)参照。

解説

- (1)

- ① 下線部の冒頭の It は仮主語で真の主語は to say 以下であり, that は say の目的語となる名詞節を導く接続詞であるが, It is not too much to say that …で「～と言っても言い過ぎではない」という構文となっている。
- ② almost は always を修飾しており, almost always で「ほぼ常に」の意味。
- ③ be concerned about ～は「～を心配している; ～を懸念している」。
- ④ how は about の目的語となる名詞節を導いている疑問詞。
- ⑤ how がつくる節中の and は seen と evaluated を結んでおり by others は are seen も修飾している点に注意。

(2)

- ① There is no ...ing は動名詞を用いた表現で不可能を表し「～できない」の意味。
- ② denying は動名詞で that は denying の目的語となる名詞節を導く接続詞。There is no denying that …で「…ということを否定することはできない」の意。
- ③ be sensitive about ～は「～を気にしている, ～に神経過敏だ」の意味。
- ④ too ～ to do 「とても～なので…しない, …するにはあまりに～すぎる」
- ⑤ ここでは … are too sensitive … to make decision という構造になっている。
- ⑥ make a decision は「決断する, 決定する」。

(3)

- ① 空所の前の such は as to と結びつき such ～ as to do で「…するほどの～, …するような～」
- ② さらに空所の前の前置詞 in に対する名詞は way であり, in such a way as …となっている。
- ③ 不定詞を否定する not は不定詞の直前に置かれる。
- ④ embarrass ～は「～(＝人)に恥ずかしい思いをさせる」だが, be embarrassed で「恥ずかしい, 決まりが悪い」の意味となり, feel embarrassed で「恥ずかしい気持ちがする」の意。

これらのことから in such a way as not to feel embarrassed で「恥ずかしい思いをしないような方法で」という意味になっており, この部分が behave を修飾している。

(4)

- ① 下線部の主な構造は The Japanese mother (S) … told (V) him (O) never to do (C) の第5文型になっており「日本人の母は…彼に…をしないように言った」
- ② upon …ing は on …ing 同様に動名詞を用いた表現で「…するとすぐに」の意味。
- ③ seeing him do の部分は‘知覚動詞＋目的語＋原形不定詞’になっており「彼が…を見ると(すぐに)」
- ④ something wrong において形容詞 wrong が something を後ろから修飾している。このように something, nothing, anything など -thing の代名詞は形容詞を後ろに従える。
- ⑤ that she could not allow は関係代名詞 that がつくる節で先行詞は something。something wrong that she could not allow で「彼女が許すことのできない悪いこと」の意。
- ⑥ ——の中は something を説明している。また and が結んでいるのは pulling out と

stretching でともに動名詞で his chewing gum を目的語としている。

⑦ tell ～ (= 人) to *do* で「～に…するように言う」という命令を表す。to 不定詞の前に not や never を置くと「～に…しないように言う」の意となる。

⑧ adding は分詞構文をつくっている。

⑨ “otherwise …” は直前の a few words を説明している。また, otherwise は「そうでなければ」の意味。

⑩ everyone around you の around you は everyone を修飾する前置詞句。

(5)

It is said that S V …における It は仮主語で that 以下が真の主語となっており, 「…とされている。」の意味となる。この構文は S を主語にして S is said to *do* …と変更が可能である。

Ex. It is said that he is the richest man in the village.

= He is said to be the richest man in the village.

= They say that he is the richest man in the village.

このことより下線部は The Japanese are said to live in a shame culture となる。

(6)

①空欄の前の afraid of は be afraid of ～で「～をおそれている」の意味であるが, of は前置詞であり後ろには名詞を従える。そのため各選択肢の…ing は動名詞と見ることができる。

② laugh は下線部(4)でも登場しているが, laugh at ～で「～を笑う, ～を嘲笑する」の意味になる。

③空欄の後の by those around them での those は「人々」, them はこの文の主語 people を受けており, 空欄を含む文の意味は「人々は, 自分の周りの人に笑われることを常に怖れている」の意味となる。

④この文意より空所は動名詞の受動態が入ることになる。動名詞の受動態は being p.p. の形である。

⑤また, A laugh at B. の受身は B is laughed at by A. となる。そのため being laughed の後に at が置かれていなくてはならず, 正解はⅠの being laughed at となる。

(7)

①下線部の主構造は Americans (S) … have (V) …time (O) …。

② living は Americans を修飾する現在分詞で in Japan only for a short period を従えている。

③ have a hard time (in) …ing で「…するのに苦労する」。have difficulty [trouble] (in) …ing もほぼ同義。

④ cope with ～で「～をうまく処理する」

⑤ external pressure 「外部からの圧力」

⑥ the Japanese feel inside は this external pressure を先行詞とする関係詞節で pressure と the Japanese の間に which が省略されている。

全訳

(1)日本人は, ほぼ常に, 他者からどのように自分たちが見られ, 他者にどう評価されているかを懸念していると言っても過言ではない。(2)多くの日本人が, 他者の目にあまりに神経過敏

で自ら決断できないことが時にあるのは否定できない。なぜ多くの日本人は恥ずかしい思いをしないように振る舞うのだろうか。

電車の中で子どもが母親に叱られている場面を見たのを私は覚えている。(4)その日本人の母は、自分が許すことのできない悪いこと、チューインガムを口から出して引きのばしているのだが、それを息子がするのを見るとすぐに、そんなことはしないようにと言い、「そうでなければ、周りの皆に笑われるわよ!」と言つけ加えた。「周りの皆」、それが鍵となる言葉なのだ。この母は外部からの力に訴えているのだ。

日本人は、我々アメリカ人が暮らしているような罪の文化ではなく、恥の文化の中に暮らしているとされる。恥の文化では、恥が社会制御の主な力である。人々は自分の周りの人たちに笑われるのをいつも怖れている。そうした文化では、ある人を他者がどう考えているかが極めて重要なのである。他者は、「あなたの周りにいるすべての人」を意味し、「あなたの周りにいるすべての人」とはあなた自身が属する集団のメンバーを意味するのだ。(7)日本での生活が短期間でしかないアメリカ人は、日本人が内面で感じているこの外部からの重圧とうまくやっていくのに苦勞するのだ。

【4】

解答

言語はとても馴染みのあるものなので、我々はほとんどその複雑さに気付かない。しかし、注意して調べてみると、どんな平凡な話し手の技能も本当に驚くべきものである。

- (1) Being unemployed, he doesn't have much money.
- (2) Don't just stand there doing nothing!
- (3) Not being able to understand English, the man didn't know what I wanted.
- (4) Having spent nearly all our money, we couldn't afford to stay in a hotel.
- (5) Their conversation being in German, I didn't understand even a single word.
- (6) We started for home with night coming on.
- (7) Mary sleeps with the window open.



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--